出あい・ふれ愛

二中の輪

『早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習』

平成２６（２０１４）年　　３月１日
貝塚市立第二中学校（☎422－1532）
校長　佐嶋　公代
No.　１６３

新しいスタートに向けて
さぁ　ラストスパート！！

３月に入りました。早いもので、１年が終わろうとしています。３年生はいよいよ卒業が目前に迫っています。大きな節目です。４月からの新しい生活のスタートのために、残り少ない二中生活を大切に過ごし、仲間と共に中学校生活の締めくくりをしっかりとして欲しいです。１年生・２年生は、次の学年に向けてよいスタートがきれるよう、一年の節目を大切にすることが、確かな成長と本当の力を身につけることにつながります。

１年生の総合学習の取り組みから

車椅子バスケットボールの選手との交流会

パラリンピックをめざして、活躍している車椅子バスケットボールの選手の方々に来ていただいて、交流しました。車椅子さばき、ボールさばきの上手さに圧倒されました。実際に車椅子バスケットボールのゲームも体験し、お話もうかがいました。

○お話を聞かせていただいて、とても大切なことに気づきました。１つめは、「努力は必ずむくわれる」ということ。２つめは「人はできることと、できないことがある」ということ。３つめは「できることを数える」ということ。一番大切なのは「やりたいこと、夢を追いかけて、笑って毎日、自分のやりたいことに向かって頑張ること」。この４つを気づかせてくれました。目の前にあるつらいことは、幸せが来る前の前兆だから、つらいことは光になる。私にも夢があります。（・・中略・・）その夢に向かって、あらためて毎日頑張ります。

○ゆうちゃんの話がすごく心に残っています。できなくても、ちょっとの工夫でできたり、やっぱり努力って大事だと思いました。私も友だち・家族・先生などを大切にしていきたいです。そして、時間も大切にしていい大人になれるようにいろいろとがんばりたいです。クラブでももっと努力してがんばりたいです。

○チャンスの神様の話はとても自分のためになりました。足を１本失ったからこそわかる物の考え方とか、その人の気持ちが初めて本当にわかりました。

校庭開放委員会総会のお知らせ

日時：４月２５日（金）午後７時 30 分～

場所：　二中　図書室

H26 年度に運動場や体育館を休日・夜間に使用したい団体の代表者は必ず出席してください。出席なき場合は一年間使用できなくなります。条件は、 二中校区に在住または勤務されている方で、規則を遵守できる方です。新規の団体は、総会までに二中教頭までご連絡下さい。

（℡　０７２－４２２－１５３２）

おいしかった　豚汁
３年生保護者のみなさま
ご協力有難うございました！！

２月２４日（月）、３年生最後の球技大会が行われました。男女ともそれぞれ、運動場でサッカーを行いました。和やかに和気藹々のムードで楽しい球技大会になりました。

保護者の方々には、今年もおいしい豚汁を作っていただきました。お忙しい中、ご協力いただき本当に有難うございました。なお、１年生（3/19 ）・２年生（3/20）も球技大会を予定しています。

引き続き、１・２年生の保護者の皆様にも豚汁づくりと応援のご協力、よろしくお願い致します。

卒業式のご案内

本校第67回卒業証書授与式を挙行いたします

日　時　　平成26年3月14日（金）
午前9時30分　開式
（9時20分に卒業生が式場に入場します）
場　所　　本校　誠心館（体育館）

※保護者の方は、午前９時 15 分までに体育館にお入り下さい。
上履き（スリッパ）をご持参下さい。

H25 年度　学校教育自己診断の結果から

今年度もアンケートにご協力いただき、有難うございました！

◆生徒アンケート集計結果（保護者アンケート集計は裏面です）

◎肯定的回答が８０％以上の項目

自分の学級は楽しい。
人権（環境・国際理解・福祉・部落問題・在日外国人・障害者問題等）について学ぶ機会がある。
体育祭等学校行事は楽しく行えるよう工夫されている。

※「学校に行くのが楽しい」と肯定的に回答した生徒が昨年度の８５％より７７％に減少している。

※「生徒会活動は活発である」と肯定的に回答した生徒が昨年度の７８％より７５％に減少している。

◎回答の結果より課題と考え、重点的に取り組みたい項目

《授　業》
授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。
教え方に工夫をしている先生が多い。
授業はわかりやすく楽しい。
先生は学習で自分が努力したことを認めてくれる。
評価の仕方や基準について、事前に示されている。
《生徒理解》
悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。
担任の先生以外にも保健室等で気軽に相談することができる先生がいる。
《危機対応》
学校で、事件・地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている。

H25 年度　学校教育自己診断の結果から

◆　**保護者アンケート集計結果**

◎肯定的回答が８０％以上の項目

子どもは学校に行くのを楽しみにしている。
子どもは自分の学級が楽しいといっている。
先生は、生徒ひとりひとりを大切にして、指導に当たっている。
学校は、自分の生き方を考え豊かな心を持った子どもを育てようとしている。
学校は、環境・国際理解・福祉・部落問題・在日外国人・障害者問題等の課題について子どもに学ばせている。
先生は、子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる。
学校はいじめや暴力のない学校づくりに取組んでいる。
学校は、保護者の相談に応じてくれる。
子どもの心身の健康について、安心して先生に相談できる。
先生は子どもの評価を適切・公平に行っている。
学校は、進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。
体育大会や合唱コンクールなどの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。
地震や台風などの場合の対応について、子どもや保護者に行動マニュアルが知らされている。

◎回答の結果より課題と考え、重点的に取り組みたい項目

子どもは授業が楽しくわかりやすいと言っている。

アンケート結果から見えることと来年度に向けて

○生徒はおおむね「自分の学級は楽しい」と感じており、体育大会や合唱コンクール等の学校行事にも楽しく取り組んでいるが、「学校に行くのが楽しい」「生徒会活動が活発である」と感じている生徒がやや減少傾向にあり、自主活動を活発にし、学校生活を活性化させる必要がある。

○昨年度、保護者の肯定的評価のポイントがアンケートの全項目において上昇したが、今年度は下降気味にあり、保護者にはおおむね学校の教育活動についての理解と協力をいただいているものの、理解と協力をさらに得ることができるよう、家庭との連携を図っていく必要がある。

○今年度も学校重点目標として、「どの子にも**あい**のある（**安心**で**居場所**のある）学校づくり」「どの子にもわかりやすいユニバーサルデザインの授業づくり」に努めてきたが、授業に関する生徒たちのモチベーションが低く、教師の授業への工夫とかみ合っていない面がある。来年度もさらに具体的な方策と工夫を考え、「わかりやすい授業」に積極的に取り組んでいきたい。

○「わかりやすく楽しい授業」をめざして、教師が授業内容を工夫し、個々の生徒の学びに関わっていくことが必要であるが、生徒自身が根気強く見通しを持って学習に取り組めるよう、将来の進路や生き方についての学習を深めることも必要である。

○評価の仕方や基準についての透明化を図るようシステムを整えてきたため、生徒にも保護者にも少しずつそのシステムが浸透しつつある。

○進路だよりをこまめに発行し、進路についての情報提供に努めていることが、保護者に理解されてきた。ホームページにも進路だよりを載せることで、1・2 年生にも進路について「適切な情報提供である」と回答してくれる保護者が格段に増加した。